

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文 I (志望専修科目の基礎) 民事手続法研究 B	不可

訴訟手続の中断について説明しなさい。

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

社会人選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文Ⅱ（志望専修科目の基礎）民事手続法研究B	不可

民事訴訟手続において第一審判決がなされたとする。その判決について控訴の利益が認められるにも拘わらず、控訴権が発生しない場合の原因について説明しなさい。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	I期
試験区分	社会人選考
試験科目名	民事手続法研究B ①・II(小論文)

■出題の意図

訴訟手続の中断について問う問題である。

■採点のポイント

以下の事項について言及ないし説明しているか。

訴訟手続の中断の定義、当事者能力の喪失、訴訟能力の喪失、法定代理人の死亡、法定代理権の消滅、当事者適格の喪失、訴訟手続の中断が生じない場合、訴訟手続の中断の解消、訴訟手続の中断と訴訟手続の中止との違い

令和 8 年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	I 期
試験区分	社会人選考
試験科目名	民事手続法研究 B I ・ ② (小論文)

■ 出題の意図

不控訴の合意について問う問題である。

■ 採点のポイント

次の事項に言及ないし説明をしているか。

不控訴の合意と訴訟契約、不控訴の合意と飛躍上告の合意、
不控訴の合意と不起訴の合意・要件・効果